

県トラ新 聞

社長 雑感

令和元年を振り返る

今年一年を通じて、富山県トラックにとつて一番心に残る出来事は、創立五〇周年である。昭和四四年の六月に富山市黒瀬で、父が経営していた吉澤油化学研究所が、経営困難を抱えた運送会社の再建に係わり買収したところから、会社の歴史がスタートしている。

再建には多くの困難があり、設立から暫くの間は苦勞の連続であったと、父の自伝に記されている。父を含む当時の設立に係わった人たちの尽力で、無事に五〇周年を迎えられたことに感謝すると同時に、これまで富山県トラックを支えて下さったお客様と、会社の発展に一丸となつて力を注いできた社員の皆さんには、心よりお礼申し上げます。

五〇周年の年に強く感じる事は、この先富山県トラックが六〇周年、七〇周年と歴史を重ねて行く為には、お客様に満足して頂けるサービスを提供し続けなければならないという事だ。もう一度富山県トラックの経営理念をしっかりと心に刻み、更なる成長を続けて行きたい。

富山県トラック経営理念

- 1、お客様の役に立つ仕事を誠心誠意行いお客様に必要とされる企業になる。
- 2、「起業は人なり」の理念で、人材の育成に努める。
- 3、常に最高の物流を求め、絶えず行動し創造する。
- 4、企業の繁栄を通じ社員が成長し、地域の発展と幸福に寄与する。

最後になりましたが、皆様が良い年を迎えられますようお祈り申し上げます。
今年一年本当にありがとうございました。

吉澤比佐志

第64号

発行者
富山県トラック(株)
富山市水橋沖188
TEL 076(479)6311
FAX076(479)6300

Please! NEXT

次回担当は・・
柴山さん & 田辺さん
よろしく
お願いします

県トラTVCM放映中
KNB毎週月曜日の朝ZIP
内と、金曜日の夕方ワンエフト
OYAMA内で放映中です!

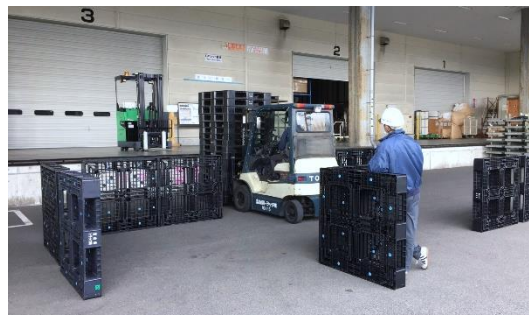
今第64号は
大石・野口が
担当しました



安全運転講習会 フォークリフト安全講習



「だろろ運転」はNG「かも知れない運転」を!



自分たちでコースをレイアウトして実施しました

十二月十四日にMS&ADインターリースク総研株式会社様にお越しいただいて、安全運転の講習会が行われました。運行現場での対応力を高める方法などを、具体的な事例や映像を交えながら分かりやすく説明を受けました。その後、富山東物流センターで、フォークリフトの安全講習を実施しました。今後も安全第一で!

(大石)

★リレー方式★ 県トラ社員紹介

今回は本社ドライバーの福岡清人さん、齊藤道善さん、石川営業所の、土田堪太さんの紹介です。

Q1 趣味は?

福岡 釣り

齊藤 パチンコ

土田 映画鑑賞

Q2 休日の過ごし方は?

福岡 嫁さんとランチまたは旅行

齊藤 高岡のDSGかKEIZ

土田 出かけた映画見たり

Q3 意気込みをお願いします

福岡 他の人の足を引っ張らない様に頑張ります

齊藤 安全運転でがんばります

土田 無事故で頑張ります



土田 堪太さん
(つちだ かんた)



齊藤 道善さん
(さいとう みちよし)



福岡 清人さん
(ふくおか きよと)

富山労働局 令和元年 ベストプラクティス企業 に選定されました

十一月十一日、長時間労働の削減に積極的に取り組むベストプラクティス企業として佐藤労働局長が訪問されました。取り組み事例が富山労働局のホームページを通じて紹介されています。是非、ホームページをチェックしてみてください!

(大石)

【参照】富山労働局HP→事例・統計情報→(事例)令和1年11月ベストプラクティス企業

インフルエンザ ワクチン接種



十一月二十八日にインフルエンザ予防接種が実施されました。今年も富山西総合病院より来ていただきました。病院や医院に行かないで短時間で効率的に予防接種を受けることができます。毎年感謝しております。インフルエンザウイルスは感染力が高く毎年冬の時期に流行しています。職場で多くの人が感染すれば業務に支障をきたします。ワクチンを接種したからといって安心せず、うがい、手洗いをしっかりと行い、各自感染の予防を徹底しましょう。

(大石)



結婚おめでとう!

十一月本社運輸部中野さん、総務部野村さんがめでたくご結婚されました。

中野さんは良き先輩であり理解者としてふわふわ。野村さんは同期で可愛い娘としてふわふわ。二人ともふわふわな心で、まわりをやわらかくしてくれます。そんな二人がよきパートナーを得られ良かったです♡

中野さん→大石(おおいし)さん
野村さん→蛇見(じやみ)さん

に変わられました。皆さん早く覚えてくださいね。

お二人の未来に幸多かれ。末永くお幸せに職場の全員から心をこめてお祝い申し上げます。

(野口)

※ふわふわ(原文ママ) = 野口さんのイメージです(野口語?)

【お知らせ】 県トラのCM

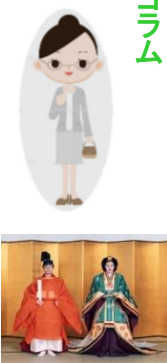
1月2日・3日の第96回箱根駅伝生中継中に県トラCM(30秒Ver.)が放映されます! 長い放送中の各日1回です。お見逃しなく!

下記YouTubeでも閲覧できます
https://youtu.be/_SNyjf4BMeA



杉真理さんと(KNBラジオ)

運輸課野口さん初のニラム 令和到来!



令和が始まり数か月が経ちました。先日は天皇皇后陛下ご即位の式典やパレードで大きく賑わいましたね。私もテレビで放送される式典の様子を見て、令和という新しい時代の到来を実感しました。この令和という時代はどのような時代になるのでしょうか。

私は昭和、平成と経験していますが、二つの時代を経験していると、時代の変化や流れを実感することが多かったです。それは祖父や父を含めた戦争経験者から特攻隊、出征にまつわる戦時中の話をよく聞く機会があったことや、その復興後に生まれ日本が豊かで平和な時代に育ってきたこと、そしてそれと同時に日本の技術の発展を流行とともにこの目で見てきたことにあると思っています。

例えばそれは情報機器、例えばそれは人や物を運搬する乗り物、例えばそれは茶の間を賑わすアイドル。そして私たちの常識さえも時代は変えて行きました。そしてもう一つ、時代の変化を感じるものがあります。それは子育てです。子育てをしながら、私は次世代の子供たちの世界に触れてきました。子供たちの欲しがっているもの、その発言でも、考え方も、どれをとっても私が生まれた昭和と、娘や息子が生まれた平成では違うのです。自分の頃にはなかったテクノロジーが作り出したおもちゃ、自分が学生の頃にはなかった科目、学校指導や子供たちの考え方、服のセンスや趣味まで、自分が彼ら彼女らと同じ年の頃にはなかったものや変わったことも多かったように思います。そうやって、ああ、時代が変わったんだなあと感じてきたのです。しかし、変化したことがおかしなことか、不幸だったと思うことはありませんでした。変化は生活に便利さをもたらすし、昔より大勢の人が生きやすい考え方が浸透し、何より子供たちに平和な時代を残してくれました。

さて、子供を通して変化を見続けた平成も令和になりました。皆さんは今度はどんな未来が待っていると思いますか? 願わくば、次世代の子供たち、そして令和に生まれた子供たち、そして時代を築いた先人たちが、幸せに暮らせる世の中でありませう。

(野口)